

令和2年10月7日

## 職員の新型コロナウイルス感染について

社会福祉法人至誠学舎立川  
至誠ホームミナ  
園長 諏訪 逸  
至誠ホーム長 旭 博之

10月2日(金)、当グループホーム所属の職員1名がPCR検査の結果陽性であることが判明いたしました。

10月3日(土)、多摩立川保健所による現場環境や感染防止対策の確認、濃厚接触者の特定等が行われました。その結果、グループホーム全入居者18名および職員1名が濃厚接触者と認定され、ご家族の承諾をいただき即日PCR検査を実施。また、濃厚接触者には該当しないが、引継ぎ等で当該職員と勤務時間の重なった職員6名にもPCR検査を実施し、グループホーム内の業務を感染発生時対応に切り替えました(検査対象の職員のうち1名は居住地管轄の多摩小平保健所の指示によりPCR検査を実施)。

なお、併設の特別養護老人ホーム、小規模多機能ホーム、地域包括支援センター、サービス付き高齢者向け住宅につきましては、多摩立川保健所より、現状の感染防止対策を強化して通常の運営をしても良いとの指示をいただき事業を継続中です。

10月5日(月)、多摩立川保健所の管轄で検査を実施したご入居者18名、職員6名の陰性が確認されました。小平保健所の管轄で検査を受けた職員1名につきましては10月8日(木)には検査結果が判明する予定です。

その後施設内に発熱等の症状がある方はいらっしゃいませんが、多摩立川保健所の指示により、10月13日(火)までは経過観察期間として感染発生時対応によるご入居者・職員の健康観察強化を継続いたします。

このたびは、ご入居者・ご家族・関係各機関・地域の皆様方に多大なるご心配をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

当ホームでは今後も感染防止対策を徹底の上、職員一同ご入居者・ご利用者のより良い生活づくりに努めて参ります。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

(第1報)